

	ページ
第一章 世界 + 実存 + 存在	1
1-001 ~ 1-113 論考	2
第二章 共鳴する思想	65
1. エリッヒ・ヤンツ	66
2. ヤスパース	69
3. ティヤール・ディ・シャルダン	71
4. ショーペンハウアー	74
5. フッサール	78
6. リルケ	80
7. ジェームズ・ガードナー	80
8. 榊原 紫峰	81
第三章 随想	
3-001 ~ 3-024	82~89
第四章 物理学と生命	90
4-001 インフレーション膨張・・・・	91
4-002 自己組織化。	
4-003 情報がより基本的な根源的なもの。	
4-004 相転移、(自発的)対称性の破れとエントロピー	92
4-005 自己組織化、自発的対称性の破れ。	93
4-006 現代物理にはさまざまな不明瞭さが溢れている。	
4-007 重力、空間の起源。	94
4-008 超弦理論、M理論、ループ量子重力理論で感じること。	
4-009 10次元、11次元の由来。	95
4-010 ループ量子重力理論。LQG	
4-011 重力、次元、空間の幻想性。	96
4-012 超弦、M理論への批判。	
4-013 生命の概念。	97
4-014 情報。	98
4-015 カウフマン。	99
4-016 生体高分子と生命	100

第五章	物理と次元、空間、情報	112
	前書き	113
5-001	超弦理論の周辺	115
5-002	ブラックホールの周辺	119
5-003	ブラックホールのエントロピー	131
	超弦理論からのアプローチ	
5-004	ループ量子重力理論に関するメモ	136
5-005	ループ量子重力理論における ブラックホールのエントロピー	144
5-006	基本事項メモ	
	m-001 作用	147
	...	
	...	
	m-005 弦理論における次元	152
5-007	AdS/CFT対応	156
5-008	DブレーンとAdS/CFT	157
5-009	ブレーンワールド（膜宇宙論）	162
5-010	AdS時空における作用	163
5-011	AdS/CFT対応とブラックホール	165
5-012	重力理論の正準形式	166
	エピローグ	168